

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 3 月 7 日作成)

小委員会名	組積工法改良研究小委員会	主 査 名：眞方山 美穂 就任年月：2011 年 1 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (組積工事運営委員会)	委員長名：本橋 健司 主 査 名：長谷川 直司
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>組積造建築物は、耐久性（長寿命）、高断（蓄）熱性能、高遮音性能、型枠不要等の利点を有しているが、普及を阻害している要因もあり、これらについていくつかの課題が 2009 年度までの小委員会において指摘された。この小委員会では、材料、施工および構造的な研究で打破できる阻害要因に関する部分を研究し、組積工法の改良を図る。</p> <p>2010 年度：組積造の普及に関する現状の整理、および普及のための改良工法等に関する調査・整理</p> <p>2011 年度：耐久性低下につながる材料・施工法について、それらに関する研究・実験成果の整理および対応策の検討</p> <p>2012 年度：組積造普及のためのグラウト材に関する調査および技術資料の収集</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 眞方山美穂（国総研）、高橋和雄（大陽セメント）、青木孝義（名古屋市立大）、石井克侑（大陽セメント）、川上勝弥（小山高専）、千歩 修（北大）、根井 浩、長谷川拓哉（北大）、長谷川直司（建研）、三田紀行（職業能力開発総合大学校）、守 明子（名工大）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	30,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	組積造普及の鍵となるグラウト材について、組積造を用いた耐震改修工法の技術資料を収集・分析するとともに、生コンプラント等におけるグラウト材の供給可能性に関する調査を行った。概ね予定どおりであった。
委員会活動の問題点・課題	